

健康を損なう現状の住宅を調査した…

# 研究者が語る!! 良い家の条件

【日時】 11月16日(日) 午後1:30～午後5:10

【会場】 岡山市 南ふれあいセンター 3F ふれあいホール  
(岡山市南区福田 690-1 地図裏面)

【定員】 200名(申込先着順)・無料

## 第1部

家の価格とクオリティ  
を見極める



講師 **白瀬 哲夫** 氏

NPO住まいづくり支援センター理事長

家の値段は本当に分かりにくい。自分の家の本当のコストは？住宅の販売価格と原価構造をひも解き、見積書だけでは知り得ることのない実態を解説。他にも、数々の住宅の実態調査・研究を行ってきた白瀬氏の知見から、住まいに関するアドバイスも。

白瀬 哲夫氏 略歴

1997年～2000年「NPO法人シックハウスを考える会」の会員としてシックハウス問題の研究と解決へ従事。

2000年～現在 日本住環境医学研究会の理事として住環境問題の改善研究へ取組中

2012年～現在「NPO法人住まいづくり支援センター」を設立し、生活者向け住まいづくりコンサルティング等へ取組中。各種NPOの活動に従事しながらも、とあるメーカーの研究員でもある

## 第2部

あったかい？瀬戸内。  
高断熱不要はホント？



講師 **前 真之** 氏

東京大学 工学部 建築学科 准教授

「温暖な地域」と言われる岡山に、気密・断熱は必要なのか？日本を代表する温熱環境の研究者の前准教授が、データとビジュアルを使って分かりやすく解説！！

2020年省エネ義務化に向けて、必見の内容です。

前 真之氏 略歴

1975年 広島県出身。

東京大学大学院工学部建築学専攻 博士課程修了。博士(工学)。2003年 建築研究所研究員、2004年に東京大学寄附講座客員助教授を経て現職。学生時代から建築とエネルギーの関係をメインテーマとして、全国の住宅実測の体験を通し住宅のエネルギーや温熱環境を幅広く研究。

住宅省エネ2013年度基準において評価方法策定に携わる。

主な著書/「エコハウスのウソ」(日経BP)。

主催 : E・EA推進協議会

お申込み・お問合せ : (株)コスミック・ガーデン 0120-017-539

# 【会場】 岡山市 南ふれあいセンター 3F ふれあいホール (岡山市南区福田 690-1)



当日のご連絡先：090-2297-2821

## 主催団体よりご挨拶

建築基準法の第一条には「この法律は、(中略) 国民の生命、健康及び財産の保護を図り、もって公共の福祉の増進に資することを目的とする。」という当然とも思える一文があります。しかし、わが国に建てられてきた多くの住宅は、断熱・気密性能が低く、住まう人の健康を損なってきました。実際に、**年間に1万7千人の方が入浴中に心肺停止状態になっており(2011年推計)、その主な原因は、家の中の温度差によるヒートショック**とされています。

折しも環境問題・エネルギー問題を背景に、住宅の性能において先進諸国に遅れを取っている日本も、これまで努力義務でしかなかった一定の断熱性能の基準が**全ての住宅に対して義務化されます(2020年より施行)**。しかしこの基準は、断熱の設計値を規定するにとどまり、現場での施工品質や、建物の気密性能は考慮されておらず、建築後のチェックも義務化されないため、建った建物が**実際に性能をもっているかどうかは不確定であり**実際の施工精度により左右されます。

このような背景から、建物の**実際の性能**が住まう人の生命と健康にとってどれほど重要かということ、住宅を検討中の方、建築のプロの方、これからプロを目指す方、その他ご興味をお持ちの方皆様を知っていただき、住まう人の健康と命を守るこのできる住宅を建てて頂くことを目的とし、本講演会を開催する運びとなりました。

そして、第一部講師の白瀬様を通じてご縁を頂き、建物の温熱環境の第一人者である前真之先生に、ご講演をお引き受け頂くことができました。皆様にとって良質な情報収集の場として本講演会をご活用頂けることを、心より祈っております。

E・EA推進協議会 藤井 好雄

いい・家

すいしんきょうざかい

### 「E・EA (Eco&Earnest Architecture.) 推進協議会」とは…

(株)あらい建設、(株)コスミック・ガーデン、(株)なんば建築工房、(株)森本工務店、(株)理創ハウスの5社からなる、「いい・家」づくりを推進する協議会です。利益追求ではなく、いい家づくりのためのあらゆる製品、技術の探求を進めると共に、お客様の立場で本当に役立つことは何かを考え、より良い住宅を提供することを目的としています。